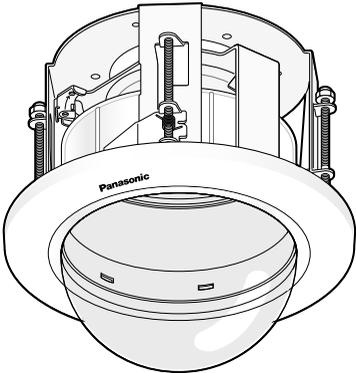


取扱説明書

工事説明付き

カメラ天井埋込金具

品番 **WV-Q159S**

	もくじ
	はじめに
	商品概要…………… 2
	付属品をご確認ください… 2
	安全上のご注意…………… 3
	設置上のお願ひ…………… 5
	各部の名前…………… 6
	設置
	取り付けかた…………… 7
	その他
	仕様…………… 裏表紙

はじめに

設置

その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3、4ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保存してください。

はじめに

商品概要

本金具は、ネットワークカメラ用のカメラ天井埋込金具です。対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。

二重天井の石膏ボードなどのねじ引き抜き強度が弱い場所に使用できます。

また、カメラ本体の露出部を小さく見せるため、埋込型になっています。

※スモークドームカバーの透過率は約 50 %です。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1 冊	以下の付属品は取付工事に使用します。	
		落下防止ワイヤー	1 本
		落下防止ワイヤーアングル	1 個
		型紙 A	1 枚
		型紙 B	1 枚
		インナーカバー	1 個

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

■ぶら下がらない、足場代わりにしない

(けがや事故の原因となります。)

■専用のカメラ以外は取り付けない

(落下によるけがや事故の原因となります。)

■塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)



■工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)

⇒必ず販売店に依頼してください。

■振動のないところに設置する

(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。)

安全上のご注意（つづき）

警告



- 人がぶつからない高さに取り付ける
（けがの原因となります。）
- 落下防止対策を施す
（落下によるけがの原因となります。）
⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
（落下によるけがや事故の原因となります。）
- 定期的に点検する
（金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒点検は、販売店に依頼してください。
- 総質量に耐える場所に取り付ける
（落下や転倒によるけがや事故の原因となります。）
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。
- 設置の説明にしたがって天井面にしっかり取り付ける
（けがや事故の原因となります。）

注意



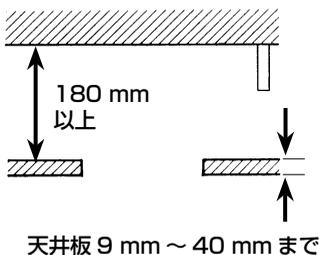
禁止

- 金属のエッジで手をこすらない
（強くこするとけがの原因となります。）

設置上のお願い

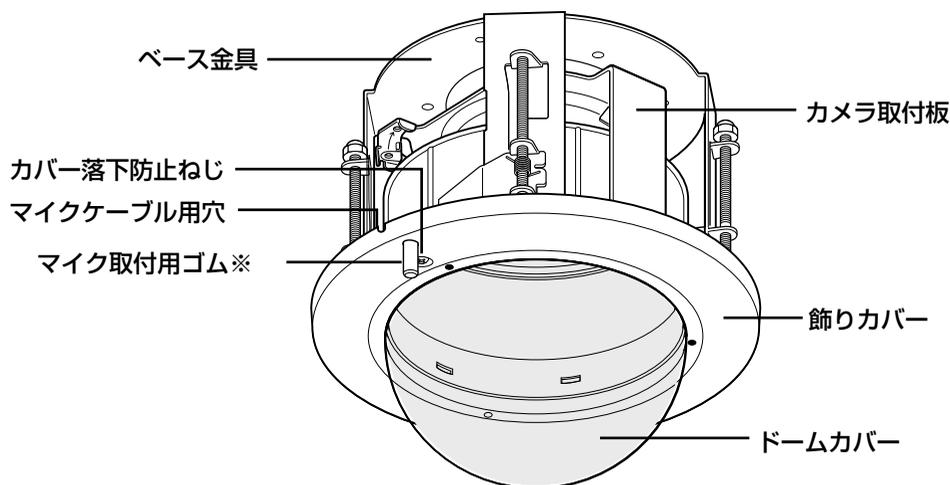
傷害防止のため、この機器は、設置説明書に従って天井にしっかりと取り付ける必要があります。本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

- 設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な天井面をよく選んで、設置してください。また、カメラ取り付け時の総質量（約 1.9 kg）に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- 天井裏が 180 mm 以上あるところで使用してください。
- 天井板の厚さは、9 mm ～ 40 mm まで取り付けが可能です。



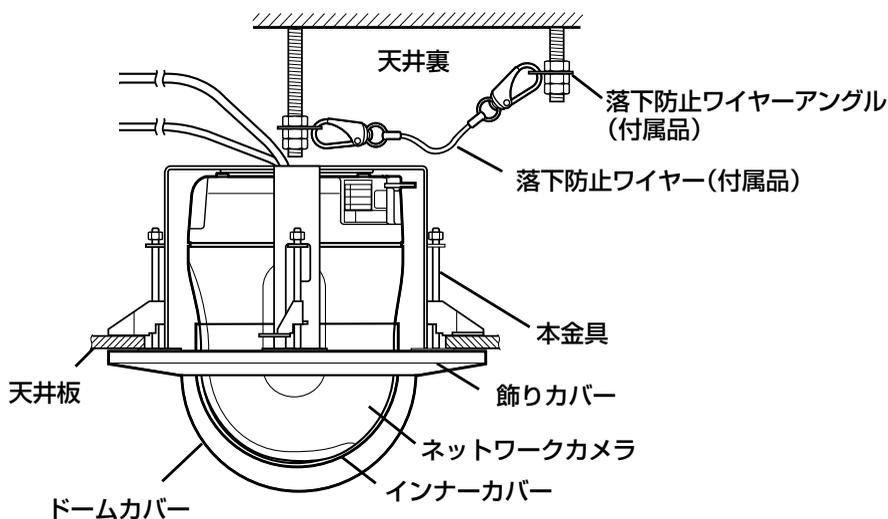
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
 - ・ プールなど、薬剤を使用する場所
 - ・ ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
 - ・ 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
 - ・ 放射線や X 線、および強力な電波や磁気の発生する場所
 - ・ 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
 - ・ 使用温度範囲（ -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ ）を超える場所
 - ・ 車輻、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
 - ・ 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
 - ・ 湿気やほこり多い場所
 - ・ エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります）
- ねじやボルトは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- 取付場所のねじ引抜強度は、1 本あたり 196 N {20 kgf} 以上が必要です。

各部の名前



※タイピン型マイクを使用するときは、マイク取付用ゴムにマイクを取り付けてください。使用しないときは、マイク取付用ゴムをニッパーで切るなどの処理をしてください。

<設置例>

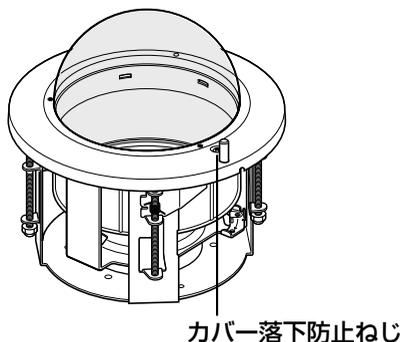


取り付けかた

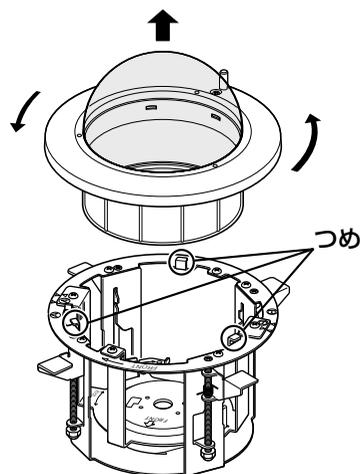
取り付ける前に、「安全上のご注意」(P.3 ページ)、「設置上のごお願い」(P.5 ページ)を必ずお読みください。また、ネットワークカメラの「取扱説明書 設置編」もあわせてお読みください。

1 飾りカバーを取り外す

- ① カバー落下防止ねじをゆるめます
(カバー落下防止ねじは外れません)。



- ② カメラ取付台のつめ (3 か所) から飾りカバーをはずし、反時計回りに飾りカバーを回して取り外します。

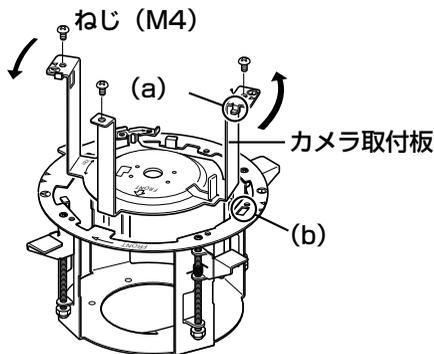


- ③ インナーカバーを取り出します。

2 カメラ取付板を取り外す

ねじ (M4、3 か所) をはずし、反時計回りにカメラ取付板を回して取り外します。

カメラ取付板の (a) の爪をベース金具の (b) の穴から取り外してください。(2 か所)

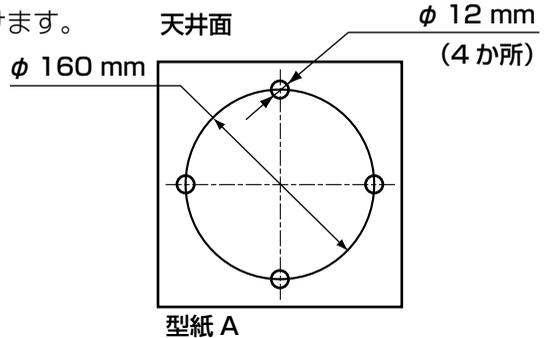
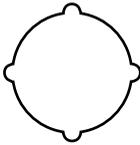


取り付けかた（つづき）

3 型紙 A（付属品）を天井にあて、穴をあける

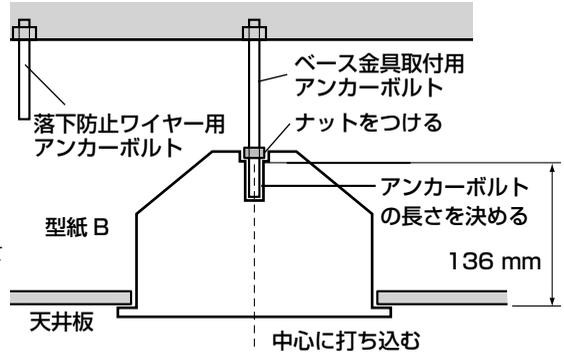
- ① $\phi 12$ mm の穴を 4 か所あけます。
- ② 型紙中央部を取り除きます。
- ③ $\phi 160$ mm の穴をあけます。

※穴は以下ようになります。



4 コンクリート天井にアンカーボルト（推奨：M10）2本を打ち込む

- ① 型紙 B（付属品）でアンカーボルトの長さを決めます。
- ② 型紙 B（付属品）でナットの位置を決めます（天井下面から 136 mm の位置にナットの下面がくるようにします）。

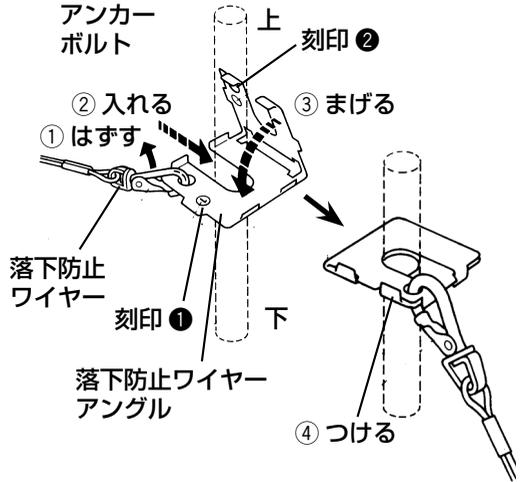


メモ

- すでにアンカーボルトが打ち込まれている場合、落下防止ワイヤー用のアンカーボルトとして使用できます。アンカーボルトの位置が、ベース金具取付用のアンカーボルトから 1 m 以内の距離にあることを確認して使用してください。

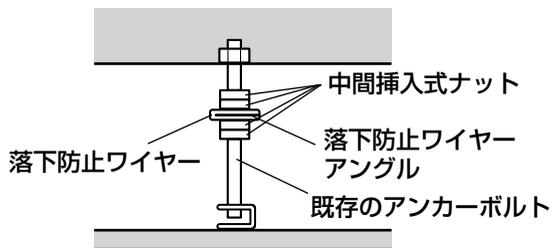
5 落下防止ワイヤー用アンカーボルトに落下防止ワイヤーアングル（付属品）を取り付けて、落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける

- ① 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルから外します。
- ② 刻印①の面にアンカーボルトを入れます。
- ③ 刻印②の面を折り曲げます。
- ④ 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルに取り付けます。



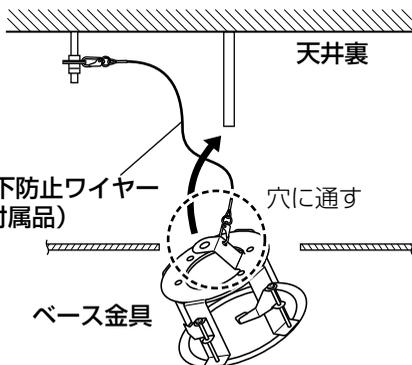
メモ

- すでに打ち込まれているアンカーボルトを使用する場合は、中間挿入式ナット（推奨：SN-W3/8 ネグロス電工株式会社製）を2個使用すると便利です。

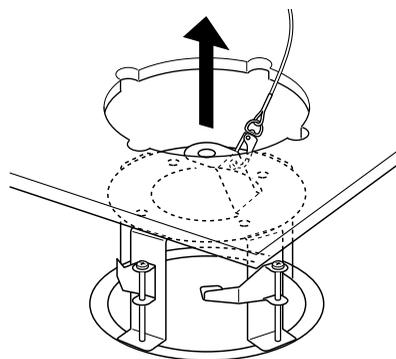


取り付けかた (つづき)

- 6 落下防止ワイヤーのもう一方の先にベース金具を取り付ける

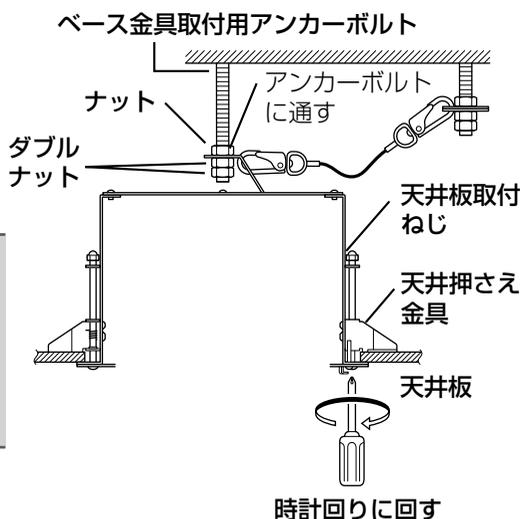


- 7 ベース金具を手順3であけた穴に通して、天井裏に入れる



- 8 天井板取り付けねじ (4 か所) でベース金具を天井に固定する

- ① ベース金具の上部をベース金具取付用アンカーボルトに通します。
- ② 天井取付ねじを時計回りに回し、ベース金具を固定します。
天井取付ねじを回すと、天井押さえ金具が天井板を挟み込み、固定できます。
(推奨締付トルク：0.78 N・m {8.0 kgf・cm})



重要

- ベース金具を天井に固定する際、4つの天井押さえ金具が図のように開いた状態になっていることを確認してください。

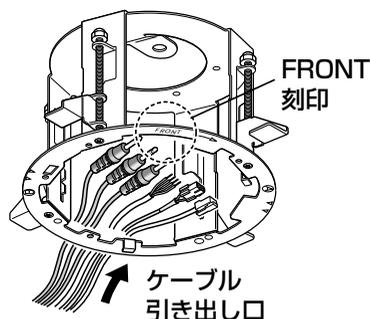
- ③ ダブルナットでベース金具の上部を固定します。

9 ケーブルを準備する

ケーブル引き出し口からケーブルを引き入れてください。

重要

- ケーブルは、FRONT 刻印の反対側から引き入れてください。カメラの向きと反対になり接続できなくなります。

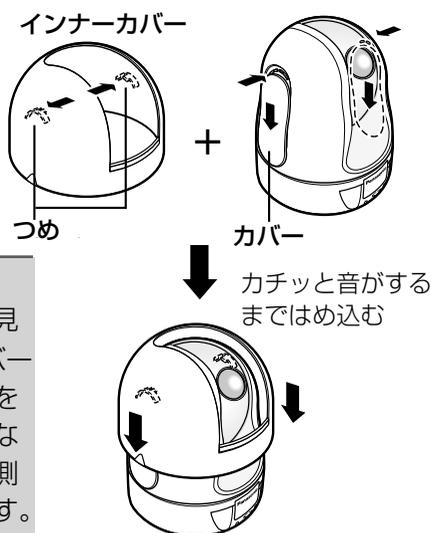


10 インナーカバーを取り付ける

カメラの側面にあるカバー（両側）をスライドさせ、インナーカバー内側のつめがカメラ側の穴に入るまで（カチッと音がするまで）確実にはめ込みます。

重要

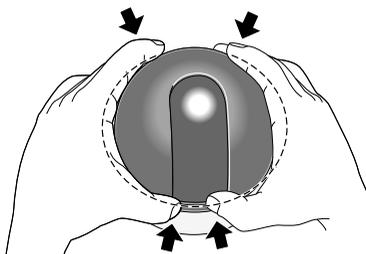
- インナーカバー開口部（カメラレンズが見える部分）の両側から、カメラの外側カバーが見えなくなる位置までインナーカバーをはめ込んでください。取り付けが不十分な場合、インナーカバーが外れたり、広角側で画面上部の隠れる部分が大きくなります。



インナーカバーの取り外しかた

- インナーカバーの前後を外側から押し（つめと同じ高さ付近）、インナーカバーをたわませてカメラ本体からインナーカバーを取り外します。

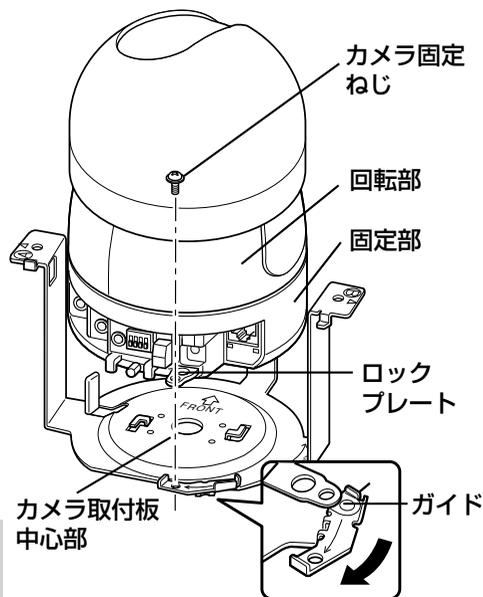
前後を押ししてたわませる



取り付けかた（つづき）

11 カメラ取付板にカメラを取り付ける

- ① カメラ取付板のガイドにカメラのロックプレートを合わせ、カメラ取付板の中心部とカメラ三脚取付ねじの中心部を合わせて本機を差し込み、時計回りに回します。
- ② カメラ固定ねじ（カメラに付属）1本でカメラを固定します。
（推奨締付トルク：0.68 N・m
{7.0 kgf・cm}）

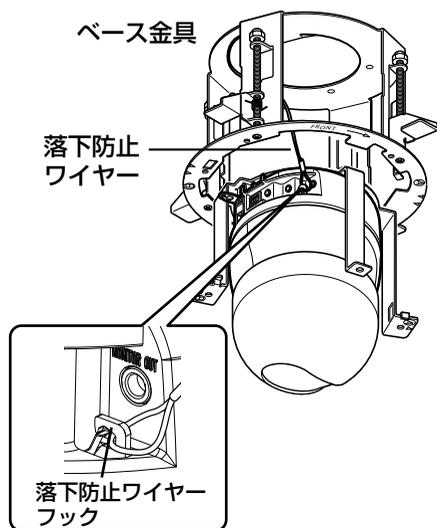


重要

- 必ずカメラ本体の固定部を持って取り付けてください。回転部を持ちながら取り付けると、故障の原因になります。

12 落下防止ワイヤーをカメラに取り付ける

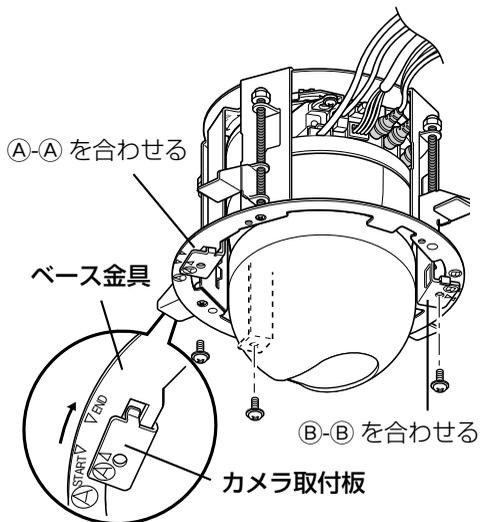
- ① ベース金具に固定されている落下防止ワイヤーをカメラに取り付けます。
取り付けたあとは、落下防止ワイヤーを引いて、落下防止ワイヤーの先端リングが確実にカメラ本体の落下防止ワイヤーフックに掛かっていることを確認してください。



13 カメラにケーブル類を接続する

14 カメラ取付板をベース金具に取り付ける

- ① カメラ取付板とベース金具の刻印が一致する向き (A-A、B-B) に合わせます。
- ② カメラ取付板の△をベース金具の「START ▽」の位置に合わせて取り付けます。
- ③ カメラ取付板の△をベース金具の「END ▽」まで回転させます。
- ④ 手順2ではずしたねじ3本を取り付けます。
(推奨締付トルク: $1.6 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $16 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })



重要

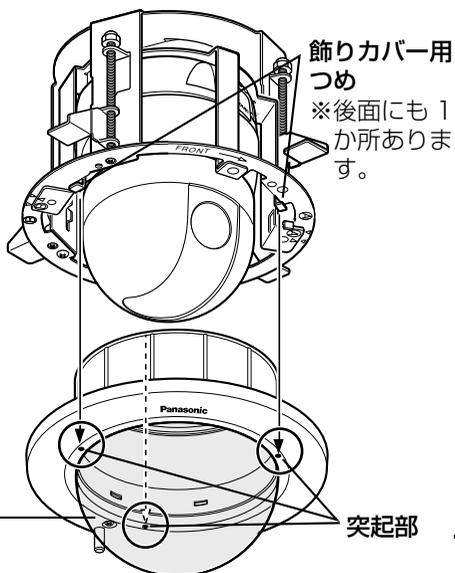
- 取り付け時、ケーブルをはさまないように注意してください。

15 飾りカバーを取り付ける

- ① 飾りカバーの突起部を飾りカバー用つめにあわせて取り付けます。
- ② 突起部を上に向かって強く押しつけながら時計回りに回し、ロックします。

重要

- 「FRONT」の刻印と Panasonic ロゴが同じ位置になる向きで取り付けてください。



カバー落下防止ねじ

突起部

取り付けかた（つづき）

16 カバー落下防止ねじを締める

（推奨締付トルク：1.6 N・m {16 kgf・cm}）

17 ドームカバーに付いている保護シートをはがす

メモ

- カメラを水平方向に向けると、画面の上側が隠れます。詳しくは、ネットワークカメラの「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があります、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に 10 年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

※ Ethernet ケーブルで給電 (PoE) するモデルや音声対応していないモデルもあります。

仕様

使用温度範囲	-10℃～+50℃	
寸法	φ 190 mm 高さ 212 mm	
質量	約 800 g	
仕上げ	本体	: 処理鋼板
	飾りカバー	: ABS 樹脂 シルバーメタリック塗装
	ドームカバー	: PMMA 樹脂 スモーク

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー
ダイヤル



パナハ ヨイワ
0120-878-410

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニックi-PRO
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号